

かつやま龍馬の会代表

下道議員

給食の食物アレルギーへの対応について

問昨年、東京都で、乳製品にアレルギーのある児童が、給食のチーズ入りチヂミを食べた後に、死亡したという事故があった。

市内の小中学校では、食物アレルギーを持つ児童・生徒は何名で、その対応はどうしているのか。また除去するだけでは、栄養面に偏りができることも考えられるが、その対応について伺う。

答食物アレルギーの勝山市内の状況は、小学校は30名、中学校11名。対応としては、保護者からの聞き取りなどによる「除去食」による対応と共に、「代替食」による対応を実施し個別のリストを作成し細心の注意をはらって調理している。

旧勝山精華高校の土地の補償問題について

問旧勝山精華高校の土地には、「勝山精華高校の土地・建物として使用せざるに至りたる場合は、寄附者に返還するものとする。」という付帯条件が付いているが、返還は無理なので補償費として9,500万円を払いたいと説明があったが、

○県にも責任があるのではないか。○県に無償譲渡する時に付帯条件

その他の質問
・小中高校生の教育環境について
2学期制について
中・高一貫教育について
中学校再編の進捗状況について
恐竜の駅について

をつけなかったということを確認する契約書はあるのか。

○勝山南高校が廃止と決まった時、寄附者からこの件が出されたが、どんな協議が県・市・寄附者でされたのか。

○また、なぜ今日まで保留されていたのか。

答市議会における無償譲渡の議決、県に対する寄付採納願の陳情そして県議会の採択、その後の所有権移転、これらの行為は寄附者から勝山市への負担付き寄付行為を知りながら行われたもので、このことは勝山市のみが寄附者に対する責務を負うものと判断している。また県においては、無償譲渡の議決はされているが、負担付き寄付の議決はしていない。

南高校用地を奥越養護学校用地として検討する際、負担付き寄付である用地であるため、新たな要望などが出ないかと県より市に問い合わせがあったが、用地の課題は市議会の議決に定めるところにより市が責任を持つて対応する立場にあることを伝えた。なお、福井県がこの土地を養護学校で検討していることは平成22年2月の全員協議会で説明しており、用地の返還は事実上困難であり、金額による補償が必要であると説明している。

一般質問

丸山議員

勝山市と勝山城博物館との連携について

問第5次勝山市総合計画において、市内にある歴史遺産の保護のため、勝山城博物館との連携強化に取り組みたいとして、勝山城博物館連携検討委員会を設置し、協議・検討を行っていくとしている。過去の経緯を踏まえ、今後の取り組み方について市の見解を伺う。

答勝山市と勝山城博物館が連携することは、相互にメリットもあり相乗効果も大きいと期待されることから、平成22年12月に勝山城博物館連携検討委員会を設置し、展示内容や課題等を検討してきた。基本的には、市は勝山城博物館の1階を借用し、市の歴史・文化の展示コーナーを設置したいという考えを持っており、また特別収蔵庫や一般収蔵庫の一部をお借りし、個人が所有する文化財の散逸と劣化を防ぎたいと考えている。今後、経費や展示方法などの課題について検討し、市議会にも説明する中で連携の具体化に向けて取り組んでいきたい。

左義長の今後のあり方について

問左義長まつりは今年も多くの観光客や市民で賑わった。しかし、市民・区民挙げてのまつりとは言え、小さな区においては、櫓の維持等の金銭面や運営面、また浮き手・笛・三味線の人員確保等課題もある。今後の左義長のあり方について市の方針を伺う。

答新年度の実行委員会で櫓を持つ区および左義長全体の現状と課題を分析し、今後どのように取り組むのか、具体的な協議が必要と考えている。その協議の中で、実行委員会、各櫓区、市がどのような連携がとれるのか、どのような役割分担ができるのかなどについて方向性を見出し、勝山左義長を持続的に発展させる仕組みを再構築していきたい。



上袋田区 左義長櫓

その他の質問
・職員数、人件費について
・勝山市のジオパークの一つである七里壁の保護について
・融雪、除雪について